

本の扉

6月号

2024. 6. 21

前橋東高校 図書委員会
3年2組

6月のライブラリーニュースは「ミステリー特集」です。面白いものからちょっとヒヤッと
とするものまでオススメの本を4冊集めました。本を読んで暑さを吹き飛ばそう！



『屋根裏の散歩者』

著者:江戸川乱歩 出版社:角川書店

ミステリーといえば江戸川乱歩！

人生に退屈していた郷田三郎は引っ越したばかりの宿で偶然、屋根裏へと通ずる穴を見つける。屋根裏に惹かれた三郎は、屋根裏を「散歩」し、住人の生活や秘密を覗くことをし始める。しかし、散歩を繰り返すうち三郎は、屋根裏と穴を利用した犯罪を思いつく…。あの有名な明智小五郎シリーズの第5作目です。

「まあ何という奇想天外な、すばらしい犯罪だろう！」(本文より)

『人間椅子』

著者:江戸川乱歩 出版社:小鳥遊書房

醜い容貌を持つ「私」は家具職人として働いていた。ある日、出来心から椅子の中に入っているとそのままホテルに納品されてしまう。やがて一人の少女が椅子に座るが、私はその感触に喜びを感じ…。「私」の罪の告白から始まる物語。体験談形式のお話です。

「世にも不思議な罪悪を

告白しようとしているのでございます」(本文より)



『変な絵』

著者:雨穴 出版社:双葉社

一見、何の意味も持たないように見える9枚の絵。しかし、全ては繋がっていた…?!大ヒット中の「変な家」の著者 雨穴さんの最新作!体験型の新感覚ミステリー。個人的にこの本が一番ヒヤッとしました。怖いのが苦手な方は昼間に読むことをオススメします。私は夜に読んでちょっと後悔しました。

「あなたを許すことはできません。

それでも、僕はあなたを愛し続けます」(本文より)



『名探偵ホームズとワトソン少年』

著者:アーサー・コナン・ドイル 出版社:論創社



ミステリーはこの作品なしには語れない!

言わずとしたアーサー・コナン・ドイルの名作「シャーロック・ホームズ」です。このシリーズのほとんどが助手ワトスンによる事件記録という形式で書かれており、基本的にはどの物語も警察や事件の関係者がホームズに捜査の依頼をするところから始まります。ちょっと変わった探偵ホームズと、常識人の相棒ワトスンの凸凹コンビが繰り広げる推理には夢とワクワクが詰まっています。

「僕にとっては仕事そのものが報酬さ。

すなわち自分の特殊な能力を発揮する場を得る喜びこそが、最高の報酬だ。」

(本文より)

『掟上今日子の忍法帖』



著者:西尾維新 出版社:講談社

眠ると記憶がリセットされてしまう体質である探偵 掟上今日子が主役の大人気シリーズ最新作! 舞台はニューヨーク。不法滞在中の今日子さんが殺人事件の犯人として浮上するところから始まります。その事件にはある忍具が使われていて…? シリーズの中でイチオシの作品です。



「名探偵が訪れるのは観光地でも事件現場でもなく、謎があるところなのですから」 (本文より)

図書館の貸し出し状況(4/1~6/13)をお知らせします!

	1組	2組	3組	4組	5組	6組	計	職員
1年	170	38	50	9	88	-	355	53
2年	31	13	10	11	2	-	67	
3年	59	26	50	41	10	46	232	
						合計	654	707

📌 図書委員会でも選挙あり!!

7/5~7/11、図書館へGO!!

(※前東生・職員限定の選挙です)

